

新属の植物を発見！カリマンタン（ボルネオ島）探検記

Finding a New Genus, Kalimantan Expedition 2004



自然・環境評価研究部 系統分類研究グループ

高野 温子

これまでで最も印象深かった
2004年（平成16年）のインド
ネシア・中央カリマンタン州
ミュラー山脈調査の様子を
ご紹介します。

行きは州都 Palangka Raya から水上飛行機でふもとの naan 村に到着（1時間）。村でポーターを雇用しボートを借り上げ、上流の山を目指しました。



日本とインドネシア人研究者9名に、ガイド兼ポーター約20名を加えてボートで川を遡り、途中からは歩いて山を目指しました。ポーターに宿と食事をお世話になりながら、1週間植物を採集しました。毎日雨が降り、日々誰かのカメラが湿気で使用不能になっていく過酷な環境でした。

谷にかかる丸木橋を渡る。滑って危ないので、山靴を脱いで歩いています。バランス感覚が問われます



帰りは材木運搬用トラックの荷台1日→船2日の計3日かかりで州都に帰りつきました。



新属として発表した *Myxochlamys mullerensis* 見つけた時は万歳三唱しました。でもこの日は自分のカメラが既に使えず、好きなだけ写真を撮ることが出来なくて悔しい思いをしました。